

28 大井郷下高田村鯨の謎解き

下高田の字鯨は、旧高田小学校跡から北へ約1 kmの山間にあります。後背地を、今は大規模農道ならぬ広域産廃道路と化した吉備街道に包み込まれた字下高田1519番地～1554番地までがそれに当たります。街道から南、摺鉢の底に向かって急な坂道を下った当たりがちょうど字鯨ということです。

地区に嫁いで50年という原見さんに、地名の由来をお聞きしたところ、谷の出口、横路あたりまで昔は海だった。横路から鯨までの谷の形が鯨に似ていることから名付けられたと聞いているとのことでした。

鯨が頭を北にして横たわっている計算になります。なるほど、そういえば小学校跡のあたりを磯元というのも納得です。しかしここで得心してしまっただけでは話しは進みません。

そこで各地の鯨地名を調べて見ますと、語源は、どうやら「くじく」・「くずれる」等の意味で、えぐられた崩壊地や湿地を指す言葉のようだという見当がつかます。

例えば … ほんの一例ですが

- ・海岸部の崩壊地形としては…熊本県天草市鯨道は、「くずれみち」が訛ったものです。
- ・内陸部では…青森市鯨沢は険しい峡谷の地名で、「くずれさわ」からきています。
- ・低湿地の地名としては…鹿児島県鹿屋市串良は、崩壊地形の麓にある集落で「くじら」と同じ語源です。



下高田梨ノ木峠の案内標識



と同じ語源です。

という次第で、鯨はどこにあっても土地柄の良くない危険地帯の代名詞という感じですか。

では、下高田の鯨はどうでしょうか。摺鉢状斜面の麓にあるという点は気懸かりですか？そこで、岡山県がインターネット上に公開している土砂災害警戒区域指定情報をもとに地区周辺を調べてみました。

結果は、鯨の近く、下高田妙見地区が急傾斜警戒区域、吉の梶屋谷地区に土石流警戒区域指定があるのみです。摺鉢状の地形ですが、鯨地区は、土砂災害指定区域や山腹崩壊等の山地災害指定区域ではありません。



では、何故にくじく・くずれる等の意味を持つ「鯨」の名前が付けられたのでしょうか。

地元の言う、地形が似ているということに軍配が上がるのでしょうか。

平成29年11月14日(木)、NHK総合TVの「日本人のお名前えっ！」に「鯨さん」が登場しました。鯨さんは、栃木県の鬼怒川流域に存在する姓で、鬼怒川が氾濫して土をえぐった所が、えぐるなどの意味を持つクジルが「鯨」に訛って地名になり、姓になったというお話でした。

この土をえぐるとかくじるということに関連して注意したいのが、近くの吉の金谷、梶屋谷の地名。どちらも鉄に関係する地名です。加えて、下高田の梨ノ木峠、吉のナシノ木タワという小字です。実は、これらに共通の「梨」も大きな意味を持ちます。よく言われる、梨の木が植えられていたものではないのです。深茂の梨ノ木谷もそうです。今の赤磐市の赤磐の名は、赤坂郡と磐梨郡が合併して出来ました。この磐梨の梨が穴師、つまり岩に穴を開けて砂鉄を採取する鉄穴師のことなのです。梨ノ木とは、こういう採鉄製鉄集団が住んだ場所を指します。(地名と人々の営み：2009吉備人出版・浦上宏)



鉄穴師の作業

そして彼等の作業内容を如実に示すものが右の写真です。つまり、♪♪ 俺いらはナ〜〜生まれながらの炭坑夫、身上はツルハシー一本さア、でかいこの世の炭鉄を掘

って〜掘って、また掘〜って…♪♪ という三橋美智也の歌が代弁するとおり、炭坑夫ならぬ鉄穴師達は、砂鉄の原料山をクジイテ、クジイテ、ついには山の形が変わるほどクジリ倒したのです。

左の写真は、谷の東から鯨地区の後背地の山容を写したものです。深い緑の木々の底に、鉄穴師達の作業によって出来た深い谷が幾筋も見てとれます。皆さんも是非現場でその迫力を感じてください。



谷口方向から下高田鯨を望む

ということで、下高田村の鯨は、鉄穴師達によるクジルが語源と言うことでした。まさに、「真金吹く吉備」ならではの鯨ということでガッテンしていただけましたでしょうか？